

問 移住支援について
市の考えは

白岡も今後は人口減少が予測される。将来に向けて手を打つためにUターンなど移住支援の検討が必要ではないか。補助制度による支援が考えられるが、空き家の活用や農業の後継者育成など、地域の課題解決と定住人口の増加を結び付ける政策を打ち出せないか。

答 子育て世代に向けた
施策を展開していく

引き続き、市外のイベントやSNSを通じて本市の認知度アップを図っていく。また、若年層や子育て世代に向け、ブランドメッセージ「いとあかし しらあかし」や各メディアを積極的に活用して、住環境の良さや特色ある子育て支援事業をPRしていく。



渡辺聡一郎 議員
(創政会)



シラオ仮面

問 白岡のPRと
ブランディングを

白岡のPRを市外に向けて強く推進していく必要がある。特に子育て世代をターゲットに市のブランディングを図れないか。シラオ仮面などによるPRだけでなく、多様な方法でのPRが必要だ。メディアとの連携や政策と一体となったブランドメッセージの発信を。

答 新たな定住支援策の
調査・研究を行う

本市では、市まち・ひと・しごと創生総合戦略にもとづいた転出抑制および転入促進に関する施策を積極的に推進していくこととしている。今後は、将来的な人口減少に対応していくため、新たな定住者に対する支援施策についても調査・研究を行っていく。

問 高齢者の交通安全対策を

高齢者の交通事故発生状況を伺う。高齢者は交通ルールに対する認識不足なのか、歩道のないところを横断したり、自転車で走行中に後方を確認せず横断したりするのが目立つ。高齢者に対する交通安全対策について、今後どのような取組を実施していくのが。

答 高齢者の交通安全対策を
推進していく

全国の交通事故死者のうち、高齢者の占める割合は、50%を超える高い状況である。市では、高齢者向けの講習会、ドライブシミュレーターの無料体験などを実施している。今後もこのような参加・体験・実践型の交通安全教育などを通じた取組を実施していく。



大倉秀夫 議員
(白新会)

問 公用車などにドライブレコーダー設置を

久喜警察署では29年度にパトカーにドライブレコーダーを設置した。この動く防犯カメラの有効性について市の認識は。市公用車や社会福祉協議会、シルバー人材センターなどが所有する車両に設置すれば交通安全と防犯対策も兼ねる。市の働きかけの検討を。

答 計画的に設置を
進めていく

公用車は、市内各地域をくまなく走行するため、交通安全面だけでなく、防犯面についても大きな効果が期待できると認識している。関係団体に対し、交通安全や防犯に関するドライブレコーダーの貢献度を伝え、設置についても機会をとらえて依頼していく。

